



平成27年3月25日

各 位

会 社 名 アサヒホールディングス 株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 寺山 満春
(コード番号 5857 東証第1部)
問合先責任者 取締役 重政 啓太郎
(TEL 03-6270-1833)

第7次中期経営計画の概要について

当社は、このたび 2015 年度からスタートする第 7 次中期経営計画(2015 年 4 月～2018 年 3 月)を策定し、本日開催の取締役会で決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第 7 次中期経営計画スローガン

「 成長と効率の追求 - FY2017 へ向けて 50%利益成長と ROE13%以上達成 - 」

2. 連結業績目標

	2015 年度 (2016 年 3 月期)	2016 年度 (2017 年 3 月期)	2017 年度 (2018 年 3 月期)
売上高	1,250 億円	1,500 億円	1,700 億円
営業利益	110 億円	140 億円	160 億円
営業利益率	8.8%	9.3%	9.4%
ROE	13.0%	14.8%	15.4%

・ 2016 年度より国際会計基準(IFRS)の任意適用を予定しております。

・ 今後の新規 M&A については、上記数値には含まれておりません。

3. 基本方針

- ① 新事業分野による成長加速
- ② 既存事業の収益力強化
- ③ グローバル経営の推進

4. 重点施策の要旨

- ① 最終年度(2017年度)の営業利益額を、2014年度比で50%成長させる。
- ② 2017年度「ROE13%以上」を、経営資源の選択と集中ならびに業務の効率化により達成する。
- ③ 3年間で総額150億円(M&Aを除く)の投資を、期間中のキャッシュフローを原資として実行する。
- ④ 各年度において、当期純利益の30%~35%を株主還元に充当する。
- ⑤ 2015年6月より、3名以上の社外取締役を含む監査等委員会設置会社へ移行し、コーポレートガバナンスを強化する。
- ⑥ 2016年度より、国際会計基準(IFRS)の任意適用を開始する。
- ⑦ グループ全社の事業継続体制を再点検し、リスクマネジメントを強化する。
- ⑧ 貴金属事業セグメント:当社グループのコア事業として、日本国内の各事業の競争力を一層強化する。北米では事業基盤の拡充を図るとともに、アジア市場では新たな分野での拡大を図る。またグローバル市場において「アサヒ・リファイニング(Asahi Refining)」のブランド認知を高めるとともに、リサイクル原料の供給を拡大する。
- ⑨ 環境保全事業セグメント:当社グループの安定成長事業として、収益性を重視するとともに、設備投資を積極的に行う。引き続き、成長に寄与する会社に対するM&Aを行う。
- ⑩ ライフ&ヘルス事業セグメント:新製品開発、新しい販路の開拓ならびに独自のビジネスモデルの構築などにより、第3の柱としての事業成長路線を定着させる。

【本資料に関する注記事項】

本資料における業績目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、さまざまな不確定要素が内在しております。実際の業績等は様々な要因により本資料記載のものと異なる可能性があります。

以上